

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒小学校 ）



実施期間

令和2年 11月 9日（月）～ 11月 30日（月）

実施内容

「集まれ！本の森」

■図書委員会の活動

- ① 11月9日（月）から11月30日（月）まで、図書室の本を借りると「わくわく読書カード」にスタンプを押す取組をした。
11月の終わりには、一人一枚「わくわくしおり」のプレゼントを用意し渡す。
- ② 子どもたちが本をふれあう機会として、生駒図書館より、学校にはない本を100冊程借り、多目的室に並べた。さらに、各学年で日程を決め、並べた本を子どもたちが自由に閲覧できるようにした。
- ※例年多目的室で「お話会」を行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

備考

- ・学校図書ボランティア「としょックス」（1年生・毎水曜日朝、2年生・毎月2回の水曜日朝、3、4年生・毎月1回の水曜日朝、5、6年生・每学期1回の水曜日朝、毎木曜日中休み 図書室での読み聞かせ）
- 児童生徒の様子**
- ・としょックスさんと図書委員会の読み聞かせ活動は、数年次継続されているので、子どもたちは大変楽しみにしている。
 - ・「ぼくの・わたしのおすすめの本」コーナーには、図書室に來たり通りかかったりした子どもたちが目にして楽しみ、読書への意欲づけの一助になっている。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒南小学校 ）



実施期間

令和2年11月2日（月）～11月30日（金）

実施内容

「南小ブックフェスタ2020」 ～読書の秋、いろいろな本をたのしもう！

○お出かけミニ図書室

11月2日（月）～11月13日（金）の2週間、学年の廊下に、ミニ図書室（箱）を置いた。図書委員と図書担当がその学年のために選んだ本約30冊が入っている。朝の時間や南小タイムに気軽に手に取っている様子が見られた。



○先生たちオススメの本2020

毎年恒例、「先生オススメの1冊」を図書室に展示した。

○みんなの本だな2020

子どもたちが書いてくれたおすすめの本カードを図書室前掲示板で紹介した。また、カードを書いた人全員に、南小図書室オリジナルキャラクター「トシヨ」のしおりをプレゼントした。



児童生徒の様子

先生たちオススメの本2020では、今年は何の先生がどんな本を選んでくれたのか興味をもって、教師一人一人のオリジナルPOPが付いた表紙に注目しながら展示コーナーを見ていた。半分くらいの本が貸し出されている。



「お出かけミニ図書室」は、各学年の廊下に設置したことで、朝の時間や南小タイムなどちょっとした時間に気軽に手に取っている様子が見られた。学級文庫にはない本を読むことができるので多くの子どもたちが利用していた。お出かけミニ図書室は、図書室に多くの児童が密集するのを防ぐために考え出したものだが、多くの子どもたちが気軽に本を手取る機会が増えたことは良かった。

取組後の変容

（子ども・家庭・教師）

○「お出かけミニ図書室」は図書室に多くの児童が密集するのを防ぐために考えた企画だが、多くの子どもたちが気軽に本を手取る機会が増えたことは良かった。

○「先生おすすめの本2020」の中には、子どもたちが普段あまり手に取らない本もあったが、子どもたちにとって親しみのある先生が紹介していることで、よく手にとられるようになった。

○「みんなの本だな」で子どもたちが紹介してくれた本についても、興味を持っている様子だった。参加者には、オリジナルしおりがもらえるので、たくさんの児童が積極的に参加していた。



「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒北小学校 ）



実施期間

令和2年10月27日（火）～11月13日（金）

実施内容

「北小読書週間2020」

- ・卒業生から「みつばち文庫」の寄贈本が届いたので、図書室前廊下で紹介しています（→）。図書室には、新しい本とみつばち文庫のコーナーを作りました。
- ・期間中は、2冊貸出を行いました。



◆1年生「どくしょつうちょう」

1人1冊の読書通帳を手に、紹介されている本を読んでいます。

◆2年生「おはなし会」（生駒市図書館北分館より）

◆3年生「おすすめの本」

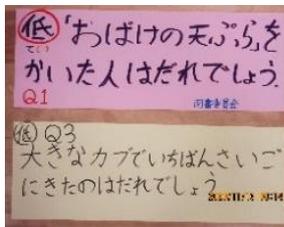
大階段の掲示板に、3年生おすすめの本の紹介カードを掲示しています（←）。図書室には、その本のコーナーを作りました。

◆4年生「ブックトーク」（生駒市図書館北分館より）

◆5・6年生図書委員会「図書クイズ」

図書委員が本に関するクイズを考えて、その本の近くに掲示します（←）。

正解したら、図書委員手作りのしおりをプレゼントします。



児童生徒の様子



1年生は、読書通帳に出てくる本を順番に読んでいます（←）。たくさん読んでいます。本を探すことも、本が見つからなかった時にはカウンターでたずねることもできるようになりました。

図書館員によるおはなし会やブックトークがあった2・4年生は、新しい経験もできました。

本の紹介カードやクイズを作った3・5・6年生は、本を読むだけではなく、本の内容から自分で紹介文やクイズを作りました。

取組後の変容

（子ども・家庭・教師）

各学年それぞれの取組で、本との新たな出会いがありました。

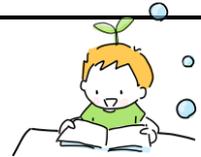
また、2冊貸出で、いつもより本を1冊多く借りられることに大喜びしていました。これからも、本を読むことがうれしいことになると思います。

図書クイズはこれから始めます。図書室内に掲示されているクイズを見つけて本も見つけることで、図書室の本の並び方を知って、図書室にもっと親しんでもらいたいと思います。

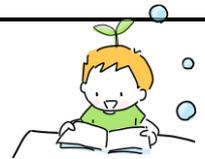
「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒台小学校 ）



「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒東小学校 ）



「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 真弓小学校 ）



<p>実施期間</p>	<p>令和2年 11月5日（木）～ 12月4日（金）</p>
<p>実施内容</p>	<p>「秋の読書クイズ」</p> <p>① 読書推進協議会作成のポスター掲示</p> <p>② 10月の生活目標は「本を読もう。」 全校集会の放送では校長先生が、ご自身の読書体験と共に読書の大切さをお話になった。</p> <p>③ 「2020 秋の読書クイズ」実施 ・11/5～12/4 ・クイズの用紙は低・中・高学年に分けて各10問程度。 ・図書委員が一人一問、「本を読むとわかる3択クイズ」を作成。 ・正解したらハンコを押してもらい、全問正解すると図書委員が作った葉がプレゼントされる。 ・図書室前の廊下に読書クイズの題材になった本を紹介している。 ・全校集会で告知し、その日から開始。</p> <p>④ 学級文庫に欲しい本アンケート調査（対象：教師）</p>
<p>児童生徒の様子</p>	<p>クイズの用紙を手に持ち、図書室にやってくる児童が増えた。出題されている本を棚から探し、内容を確認しながら問題の答えを探している姿も多く見られた。めあての本を探す方法を図書委員に教わり、背ラベルや分類番号を手掛かりに見つけていた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>取組後の変容 (子ども・家庭・教師)</p>	<p>クイズの部分だけを読んでいた児童も、その後続きを読むきっかけになればいいと考えている。友達と同じ本を読んで、クイズの答えを確かめ合ったり、感想を共有したりすることも、読書の楽しさにつなげて欲しい。</p>

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 俵口小学校 ）



実施期間

令和2年10月27日（火）～ 11月9日（月）

実施内容

「ほんの森づくり」

① 図書室の取組

図書室では、もみじ、いちよう、ドングリなどの画用紙を用意して、本の紹介を書いたり、図書室前の廊下の壁に掲示しています。「ほんの森」が本の紹介の紅葉でいっぱいになりました。



② 図書委員の取組

今年は、図書委員会でビブリオバトルを行いました。ひとり1分間ずつ本の紹介をして、チャンプ本を決めました。紹介した本は図書室だより増刊号で全校児童に配布します。



③ 図書室の掲示

図書委員会のおすすめコーナー
本をさがすための本コーナー
ものづくりのコーナー
5年のブックトークの本の紹介コーナー



④ 読書クラブの取組

本のポップ作りに取り組んでいます。さまざまな工夫をして完成したポップは図書室に掲示します。

児童生徒の様子

「ひとり2冊貸出」の読書週間をいつも楽しみにしてくれています。1冊は自分の読みたい本、2冊目はチャレンジしたい本にしてみようと呼びかけるようにしています。「ほんの森づくり」では、低学年でもおすすめポイントをまとめて、丁寧に書いてくれています。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

おすすめの本の掲示や各コーナーの本、ブックリストなどいろいろな物を見て、自分の借りたい本を一生懸命探しています。2学期になって、「読みたい！ 知りたい！」という意欲が出てきたようで、低学年は読み物を、中学年では科学系や児童書を、高学年は児童文学の名作や推理小説を借りる児童も出てきました。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 鹿ノ台小学校 ）



実施期間

令和2年10月22日（木）～ 11月20日（金）

「教師による朝の読み聞かせ」

先生がくじ引きを引き、自分のクラス以外の教室に読み聞かせをしに行きました。10月22日（木）の朝の読書タイムの時間帯に、いつもと違う先生におすすめの本や司書さんが選んだ本を読んでもらいました。



実施内容

タイトル「ビブリオバトル」

図書委員会でビブリオバトルを計画しました。コロナでたくさんの方が集まれないので、バトルが選んだ本と本の紹介文を11月16日（月）～11月20日（金）まで図書室前に掲示して、投票してもらうことにしました。



児童生徒の様子

- ・教師による読み聞かせは、いつもと違う先生が読んでくれることに喜んでいて、熱心に聞いていた。
- ・図書室前に興味深く見ている児童が増えた。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

- ・1年生の先生が読み聞かせをする機会が増えた。
- ・図書室に来る児童が少し増えた。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 桜ヶ丘小学校 ）



実施期間

令和2年11月4日（水）～11月30日（月）

実施内容

「読書の秋キャンペーン2020」

- ・11月の朝の集いで、図書委員会から「読書の秋キャンペーン」のお知らせを放送しました(←)。
- ・「読書の秋キャンペーン」は、読書の秋にちなんで、自分の好きな本やおすすめの本を、本の紹介カードに書いてもらう取組です。全校児童分のカードが集まると、図書室前の掲示板に掲示しました。
- ・図書室には、読書週間に合わせて約400冊の新しい本のコーナーを作り、新たな本との出会いの場としました。期間中は、2冊貸出を行いました。



◆「おためし読書」(→)

新しい本が入ったこの機会に、4年生の図書の時間におためし読書をしました。新しい本を手にとって読んでみて、自分達で選んだ学級文庫を作ることができました。



児童生徒の様子

全校児童が、自分の好きな本やおすすめの本を書きました。高学年は、あらすじやおすすめポイントなどをカードいっぱい書いていました。



1～3年には、図書の時間に新しい本の読み聞かせをして紹介しています。2冊貸出なので、大喜びで2冊借りています。

おためし読書をした4年生は、真剣に楽しそうに学級文庫を選んでいました(←)。

取組後の変容

(子ども・家庭・教師)

「読書の秋キャンペーン」の本の紹介カードの掲示ができると、廊下を通る時に自分や兄弟姉妹、友だちのカードを見つけてうれしそうに読んでいました(→)。

担任の先生も、おためし読書に参加してくださいました。おためし読書で選んだ学級文庫をクラスに届けると、早速本棚に集まっていました。



「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ あすか野小学校 ）



実施期間

令和2年10月27日（火）～11月9日（月）

「教師による読み聞かせ会・図書ビンゴクイズ」

○めあて 本に関心をもち、進んで読書しようとする態度を育てる。

○内 容(1)各学年で学級担任等の教師による児童への本の読み聞かせ会を実施する。

(2)図書委員会が企画した図書ビンゴクイズを低学年・高学年に応じた方法で図書室で実施する。

実施内容



児童生徒の様子

- ・普段から児童に読み聞かせをしている学級担任等の学年の教師が読み聞かせをすることで、集中して静かに読み聞かせを聞くことができ、読み聞かせ会に楽しく参加することができた。
- ・図書委員会が企画した図書ビンゴクイズに休み時間に友だちと楽しく取り組むことができ、カードを見せ合うなど友だち同士の交流を図ることができた。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

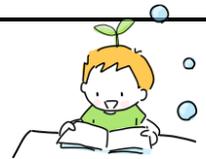
- ・学級担任等の学年の教師が読み聞かせをすることで、読み聞かせへの期待が高まり、普段とは異なる本の世界を体験し、本への関心が高まった。教師も担任している学級等での読み聞かせを通して、自分自身の読み聞かせを振り返るよい機会となった。
- ・図書ビンゴクイズは委員会児童が主体的に企画したことから、図書委員会の役割を広く考えるよい機会となり児童も本や図書室に関心をもち積極的に参加した。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 壺分小学校 ）



実施期間	令和2年10月27日（火）～11月9日（月）
実施内容	<p>「本に親しみ、たくさん読もう」</p> <p>読書週間ではより本に親しみ、たくさんの本を読んでもらえるよう、図書委員会で児童が話し合い、次のことが決まった。</p> <p>①図書室の使い方や本の内容などをクイズにした図書委員手作りのポスターを貼る。（読書週間中に最も借りられた本は何かというクイズも含む。）</p> <p>②貸し出し冊数を2冊にする。（普段は一週間1冊の貸し出しを2冊にする。）</p> <div data-bbox="445 786 906 1131" data-label="Image"> </div> <p>また、保護者の方による読み聞かせも感染予防に努めながら実施していく予定である。子ども達はとても楽しみにしている。</p>
児童生徒の様子	<p>図書室の利用は、密にならないように図書委員が声をかけたり、案内ボードでお知らせをしたりして感染予防に気を配りながら読書活動を進めていった。</p> <p>図書委員の手作りのポスターを図書室前の掲示板に貼りだし、答えは紙をめくるとその場ですぐに分かるようになっていた。興味深くクイズに答える子どもたちの姿が多くあった。</p> <p>事前に子どもたちに2冊貸し出しを知らせた事で楽しみにしていたようだ。図書室に休み時間に利用する子が増えた。一冊は文学もの、もう一冊は違うジャンルを選ぶ児童も多かった。また、2冊貸し出しも一週間で返却のため、中休みや昼休みにも読書をしている姿が多く見られた。</p>
取組後の変容 (子ども・家庭・教師)	<p>2冊貸し出しをしたことで、初めて借りたジャンルの本に興味を持った児童も多い。感染予防のため図書室の新しい利用の仕方のルールを守りながら、落ち着いて読書をする児童が増えた。</p>

「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒南第二小学校 ）



実施期間

令和2年10月22日（木）～ 11月13日（金）

実施内容

「本を読んで クイズでビンゴ！」

クイズを作る楽しみ、クイズに答える楽しみを取り入れて、新たな本と出会い、読書に親しむことがねらい。

チャレンジ意欲、達成感につながるようビンゴ形式を取り入れ、読書記録の一環として、ゲームの用紙を本よも隊の手帳に貼りつける。

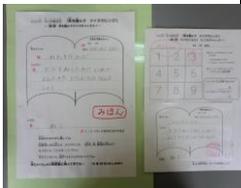
★第1弾 本を読んでクイズをつくろう！ 10/22～10/29

校内放送（図書委員）でクイズを募集。図書委員にもクイズを作ってもらう。
⇒計60問集まった（図書委員31問、ほか児童18人から21問、教師4人から8問）

★第2弾 クイズにこたえて ビンゴにチャレンジ！ 11/5～11/13

集まったクイズを9つに分けて本と一緒に展示し、校内放送（図書委員）でゲームの説明と、チャレンジを呼びかける。

クイズに正解すればスタンプを押し、たて・よこ・ななめ3つスタンプが並んだらビンゴとなる。



児童生徒の様子

- ・第1弾のクイズ作りの参加者は少なかった。
- ・第2弾のビンゴゲームも、スタート当初は企画倒れになるかと心配するくらい図書室にやってくる子が少なかったが、チャレンジしている子からうわさが広まったのか、次第にチャレンジする子が増えてとても盛り上がり、1回すべて達成し、2回目の挑戦をする子もいた。（おもに低学年が多かったが、高学年でも「おもしろそう」と言って参加する子がいた）
- ・スタンプが増えると、どの子もとてもうれしそうで、誇らしげに見せてくれる子もいた。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

- ・図書委員の積極的な協力があって、スムーズに対応することができた。図書委員から「図書室がにぎわって、仕事が楽しい」との感想や、楽しそうに活動している図書委員の様子を見て、「今度図書委員になりたい」との声も聞かれた。

備考

説明不足のせいで、本の中を見てはいけないと思っている子がいたり、答えを知っている問題（本）にばかりに集中したり、「読んだことのない本を手に取り、じっくり読んで答えを見つける」という本来のねらいに至らなかったのが、残念。